

臨床情報及び検体等の研究利用に関する情報公開文章

研究課題名 『外来化学療法を受ける患者の相談対応と副作用の早期対応を目指して -問診表からの看護の関わり-』

研究機関名 JCHO さいたま北部医療センター

【研究の目的・意義】

化学療法の副作用や不安・疑問点について、問診票を導入し看護師が介入することで副作用の早期対応につなげる

【調査及び、検査項目】

外来化学療法を受けている患者（外科）で化学療法問診票を記入された方に無記名アンケートを実施し、看護介入できた事例を抽出

【対象及び対象となると予想される症例数】

当院外科外来で外来化学療法を実施し、化学療法問診票を記入された患者から看護介入できた3～4例

【実施期間】

令和5年10月1日より令和6年1月30日まで

【個人情報について】

この研究はさいたま JCHO 北部医療センター倫理委員会の承認を得て実施するものです。

研究に利用する患者様の個人情報はすべて削除し、厳重に管理致します。
今回の研究での結果及び成果を医学学会等にて報告する可能性がございます。
本研究に対しご意見、ご質問のある方、診療情報や採取検体等の提供を承諾されない方はお手数ですが、下記までご連絡お願い致します。

【研究に関する問い合わせ先】

JCHO さいたま北部医療センター

看護部 長沼 恭子 048-663-1671(病院代表)